

北海道小樽港に5月26日08:50に入港し北回り日本沿岸航海実習の最終章を迎えました。
(専攻科2年生は残すところ1ヶ月の乗船期間となりました。下船後は各学校で上級海技士受験に向けて本格的な授業が始まります。)

名古屋港では近くに三重県の水産練習船「しろちどり」(カツオ一本釣り実習船) 499tが入港してきました。
両船の乗組員の計らいにより相互の実習生の希望者が互いの船を見学する事になり神海丸からは8名の生徒が見学に行きました。



船尾の散水装置
(カツオ一本釣り用装置)



ブリッジ見学
(神海丸には搭載されていない
カツオ船独特の機器も設置)



「しろちどり」出港見送り
(神海丸より一足先に母港に向け出港)

航海実習は座学では理解しにくい主要港の出入港に必要な航路を実際に通過し見学すると共に上陸して港湾設備や寄港地の現状等を知る事も重要な目的です。(日本各地の文化・芸能・風習を知ることによって改めてふるさとの良さを再認識できる絶好の機会と確信しています。)

また、できることなら専攻科のみならず本科の生徒達にも同様に航路学習や各種研修の機会が与えられる事を節に願うところです。

◎団体研修の様子(神戸港での研修は神海丸1号でお知らせしましたとおりです。)

1. 東京港でのスポーツ観戦(今年度は両国国技館で相撲観戦・隠岐の海応援)
東京港、停泊場所は豊洲ふ頭(最寄駅は都営地下鉄大江戸線「勝どき」)
東京は初めてという生徒も多くまた目的地までの順路も不安であったため全員で地下鉄を使用し浅草まで移動その後時間を指定し国技館前に集合しました。



浅草寺本堂前全員集合



相撲応援観戦中



隠岐の海関を応援
(見事勝ちました)

2. ドック研修（訓練記録簿の履修項目）



生徒食堂でヤマニシ造船所の概略説明



真剣な眼差しの生徒達



海上試運転に近い外航貨物船



船台、組立中の内航ローロー船



完成したブロック（船底部）



本社会議室で震災当時の様子と復興状況を聞く

3. 石巻復興現状研修



車窓より復興状況見学



海岸付近の盛り土作業中



津波の高さを示すポール
（青と白の境界線まで津波が到達）



全員で震災犠牲者のために黙とう



門脇地区に震災後建立された地蔵



女川おさかな市場

（近郊で水揚げされる魚・海産物を見学）

今後の予定：5/31（加賀入港）・6/4（加賀出港・西郷入港）・6/7（西郷出港）隠岐の島北漁場にてイカ第1クール（6/8～6/16）・釣り実習のため島前湾へ移動・6/19浜田港入港となります。